

『おほっ!!
これほっ...!!』

『ホフ
主の神棒にもっと
奉仕しなさい』

ぬいっ♡

あーっ♡

あ

おっ♡

おっ♡

あ

ぬいっ♡

ぬいっ♡

あーっ♡

あ

ぬいっ♡

あ♡
あ♡

おっ♡

あーっ♡

おっ♡



「た、たまり
ませんのお〜」

ゾクゾク...

は...

あ...

「肉壺の具合も
た、楽しみですな...」

...ん...

ひゅん...

ひゅん...

あ...

「エルフですから
人間の穴とは大違い
ですぞ...!」

あ...

ドクン...

あ...

ドクン...

ひゅん...

ひゅん...

あ...

ドクン...

ひゅん...

ひゅん...

『おお、その子が
例の子ですか』

『ええ、成長しましたので
今月の会合に参加
させようと思いました』

『これはこれは…
主も大層お喜びに
なりますな』

